



海と日本
PROJECT

造船所における進水式見学会及び海洋ごみ対策

この地球で一番大きな工業製品 **船** を見に行こう!!

令和4年度「海と日本 PROJECT」イベント実施報告

一般社団法人日本中小型造船工業会

日本中小型造船工業会と日本財団は、国土交通省の協賛を受け、本年も「海と日本 PROJECT」の一環で、「この地球で一番大きな工業製品『船』を見に行こう!!」をテーマに、7月26日（火）から造船所構内での祭イベントや体験乗船会、各種見学会を実施しています。

今年で8年目を迎える本事業は、全国各地に所在する造船所や関連企業の協力のもと、次代を担う子供たちに、楽しみながら海事産業を知ってもらうことを目的に、毎年7月～8月の夏休み期間に集中して行っていますが、今年も昨年同様コロナ禍の影響により期間を延長して実施しました。

各イベント開催にあたっては、政府や日本財団のイベント実施ガイドラインに従い、参加者への検温、マスクの着用、手指の消毒などの他、送迎バスの台数を増やして車内での密を避けるなど対策を行いながら実施し、述べ27回開催、参加者は2,372名となりました（熊本ドック、佐伯重工業では、進水式見学と合わせ祭イベントも開催）。中でも、10月22日（東京湾）と11月5日（徳山下松港）で開催した、世界初の水素旅客船「ハイドロびんご（建造：ツネイシクラフト&ファシリティーズ）」の体験乗船会には、多くの小中学生やそのご家族にご参加いただき、特に東京湾での乗船会にあたっては小池東京都知事も乗船視察されるなど、水素燃料や造船業界における脱炭素への取り組みについて広く知ってもらう貴重な機会となりました。

コロナの影響が残る中、関係各所のご協力や可能な限りの対策を施しての実施により、2,300名を超える方々に参加していただけたことは、時代を担う多くの子供たちに船や海に対する好奇心を喚起し、地域の雇用や経済を支える海事産業の大切さを知ってもらう機会を提供することができたと考えます。

※見学会実施一覧は別紙参照

